

竹中産業株式会社

<http://www.takenakasangyo.co.jp>

ステージアップで経営を強化し、新たな事業形態も創出



■事業内容:石油製品、建設資材、化学品及び
高圧ガス等の販売
■代表者:代表取締役社長 竹中 繁夫 氏
■本社所在地:東京都千代田区鍛冶町1丁目5-5
■創立年:1925年
■従業員数:120名(竹中商店含む)
■認証レベル:エコステージ1(2007年10月取得)
エコステージ2(2010年2月取得)
エコステージ3(2011年7月取得)
エコステージ4(2017年3月取得)

主な環境活動項目

- (1) 省エネルギー・省資源の推進
- (2) 産業廃棄物の削減
- (3) 環境配慮型商品の設計・開発及び販売
- (4) 社会貢献活動の推進
- (5) サービス品質の向上

背景・課題

自社に合ったEMSを検討し、 本業の経営改善も追求

竹中産業様は、日本各地に拠点をもち、石油・石炭燃料から土木・建設資材、包装資材、高圧ガスまで販売する商社です。大正14年の創業以来、エネルギー商品を扱い、環境と深く関わってきました。環境・安全・省エネが今まで以上に求められる時代を見据え、ISO 14001を検討した際、自社の求めるEMSであるかどうかを判断基準に、他の認証制度の情報も収集しました。その中で、エコステージは、環境だけでなく、業務プロセス改善・品質・労働安全衛生・内部統制システムの構築など、経営改善(本業に環境の視点でメスを入れる)が実現可能であることが決め手となり、その導入が始まりました。

活動内容

文書管理などにも活用でき、 オリジナル商品も開発

電気使用量や油槽所のボイラー燃料消費量と紙などの使用量削減から改善活動をスタートし、エコステージ1認証後もステージ2、ステージ3、ステージ4と着実にステージアップしていきました。その間、文書管理、業務プロセスの改善を推進する手段として、エコステージの取り組みを活用しました。具体的には、お客様第一の方針のもと、社内のすべての業務を対象にしてマニュアルの見直しや整備などを始め、業務の平準化や効率化を行い、お客様サービスの向上に役立てました。さらに、環境、安全、省エネに配慮した同社のオリジナル商品の開発、販売活動の推進にもつなげていきました。

効果

新たな事業形態が生まれ、 価値創造型経営の基盤を構築

エコステージ活動直後から、環境・安全・省エネについて従業員の意識が高まり、電気料、燃料コストの削減につながっています。文書管理、コンプライアンスの順守についても、意識の向上とともに、目に見える形で管理されるように徹底されています。また、ステージアップするにつれ、効果の内容が変化しています。最も大きな効果は、事業活動における業態の変化です。従来からの商品を仕入れて販売するという事業形態の他に、環境・安全・省エネをキーワードとしたオリジナル商品の開発・設計・販売という事業形態が加わり、価値創造型経営の基盤構築につながっています。



■環境意識の高い行動指針が従業員に浸透



■オリジナル商品の勉強会



■オリジナル商品のパンフレット

今後の計画

今後はさらに現場でのニーズを捉え、環境・安全・省エネをキーワードに、オリジナル商品、サービスの設計・開発・販売活動を充実させる予定です。同社では、事業活動を通して、地球環境保護・改善につながる社会づくりに貢献することを目指しています。

担当評価員からのメッセージ

エコステージを経営管理の基盤として活用し、効果的に活用している事例です。特に、課題抽出・検討・設定・周知では、エコステージで培った手法や仕組みを上手く利用し、情報共有、活動の管理、モニタリングを実施しています。エコステージ3へのステージアップで、より充実した仕組へのチャレンジが可能となり、確かな成果があらわれています。